



当事者と出会い・つながる！

～認知症の人とともに生きるフォーラムでのご報告より～

発行：京都市保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 健康長寿企画課 電話：075（746）7734 令和4年3月発行

令和3年度も終盤となり、暦の上で春になりましたが、まだまだ寒い日が続きますね…。

さて、2月1日に開催いたしました「認知症の人とともに生きるためのフォーラム」では、「第5回認知症とともに生きるまち大賞」で受賞した取組について、関わられている当事者・支援者の方にお話を伺いました。

今回の推進員ニュースでは、フォーラムでのご報告もまじえながら、取組についてご紹介したいと思います。

「認知症とともに生きるまち大賞」とは？

NHKとNHK厚生文化事業団により、認知症があっても暮らしやすい地域づくりを行っている団体への表彰が行われているものです。



**認知症とともに
生きるまち大賞**

平成29年度から始まり今回で5回目ですが、京都市内で行われている取組は、第1回と第3回にも本賞を受賞し、今回はふたつの取組が本賞・特別賞（オレンジハート賞）を受賞しました。

本賞

チーム上京！



取組の概要

（第5回「認知症とともに生きるまち大賞」受賞団体紹介ページより）

コロナ禍の中、「今までより、もっと身近な地域の中で人とつながり、安心してでかけられる場所がほしい」という一人の認知症当事者・安達さんの思いを実現するため、地域住民有志と福祉専門職9人が話し合った結果、安達さんの自宅ガレージを地域に開放することにした。こだわりコーヒーを提供するシニア男性の会や、地域の子どもたちの自主的な学び・遊びを支援する団体などがここを拠点に活動を始め、地域の新たな拠点として、新たなつながりが生まれている。

★ こちらの動画もご参照ください ★

<https://npwo.or.jp/info/20392#3>

<https://www.youtube.com/watch?v=vSi62sAhPg4>



フォーラムでは、自宅ガレージを開放されている安達春雄さん奈々子さんご夫妻と、支援者代表の橋本千恵さんから、取組が始まりから振り返って、それぞれのお立場から感じられたこと等についてお話ししていただきました。

大きなことではなく
ちびちびと…が大事。

まだまだ新たなことにも
挑戦したいです。
安達春雄さん

いろんな人とつながることが
できて、楽しいです。
安達奈々子さん

この取組を通じて、
以前は当事者さんの思いをきちんと
受け止められていなかったことに
気づきました。

橋本さん



取組の概要

(第5回「認知症とともに生きるまち大賞」受賞団体紹介ページより)

認知症になっても外出が続けられる社会をめざし、2018年、19年に叡山電車八瀬比叡山口駅で認知症カフェを開催。2019年のカフェには140人の認知症当事者、家族らが参加。散策に訪れた一般の人もカフェに立ち寄って交流。ライブも行われ、大いに盛り上がった。

これまで取り組んできた活動を、このコロナの事態で見つめ直しイノベーションを図り、「未来への再出発」という決意を応援したい。

2018年から取り組んできた駅カフェも、認知症の人のためだけでなく、「公共とは何か」が問われる叡山電車という公共交通機関と地域の人とのコラボによる意義ある活動である。

★ こちらの動画もご参照ください ★

<https://www.npwo.or.jp/info/20392#7>

フォーラムでは、今年度の駅カフェの主催団体である「さんげつ会」代表の下坂厚さんと、協力者の清水真弓さんから、下坂さんが認知症と診断されてからの様々な出来事も含めて、駅カフェ再開の過程についてご紹介いただきました。

もともと公表して活動をされる
つもりはなかったんですね。

下坂さんが若年性認知症の方に出会われ活動されているのを知り、同時に介護職として高齢者に関わることで前向きな気持ちに変わった様子が、SNSにアップされる写真から見て取れるんです。

清水さん



支援者の皆さんには、困りごとに対応するだけでなく、当事者の生活を豊かにする視点も持っていただきたいです。

下坂さん



フォーラムを受講されていた皆さんから



フォーラムを受講されていた皆さんからのアンケートでの声を、少しだけですがご紹介いたします！

「チーム上京！」について

- ◇ 安達さんご夫婦が満点の笑顔で活動されている様子を見て、こちらにも笑顔になりました。
- ◇ 当事者のそれまでの生き様を知ることもサポートには必要だなと思った。
- ◇ つながるように、どのような手のあげ方が分かりやすいのか考えていきたいと思った。

「駅カフェ」について

- ◇ 下坂さんと清水さん達がつながる初めのところを伺えて興味深かったです！
- ◇ 他の駅でも協力があれば色々な特徴を踏まえた催し物ができて、活性化につながるのではないかと考えた。
- ◇ 地域づくりに向けて、日々つながりを大切にする積み重ねが必要だと感じました。

アンケートから「自地域でどうやったら実践できるか？」という視点でお聞きくださったことが伝わってきました。フォーラムでの報告された取組が特別なことでなく、たくさんの地域で当たり前のことになり、たくさんの当事者が生き生きと暮らせる場面が増えていけるよう、みんなで考えてトライしていきたいですね♪

新たに始まった取組 IRODORI のこと



フォーラムではさらに、情報提供「当事者同士が繋がり、活動できる場を目指して～IRODORI の挑戦～」と題して、IRODORI 彩でも代表をつとめられている下坂厚さんと、事務局長の河合雅美さんから、取組が始まったきっかけや、今取り組まれていること等についてお話しいただきました。

「IRODORI 彩」が始まったきっかけ

認知症当事者の「集まる場所がない」「場所があっても知られていない」という現状を何とかしたい…というところから始まりました。

「IRODORI 彩」という名前の由来

認知症とともに彩り豊かな人生が送れるよう、そのためのきっかけづくりの場になれば…ということで、名前が決まりました。

参加しているメンバー

今のところ、認知症本人やそのご家族、認知症の人と家族の会の世話人などが参加していますが、「認知症」をキーワードに、いろんな方が参加し、つながることができればと思っています。

Facebook での発信もしています

ぜひご覧ください！！

<https://www.facebook.com/Irodori%E5%BD%A9-02066105656269>

今やっていること

毎週金曜日の19時から、1時間くらい zoom で顔を合わせてお話をしています。10月から始めたばかりなので、どんなことがやっていきたいか、企画会議を重ねています。



↑ ある日の IRODORI 彩の様子
この日は、奈良県から当事者さんの参加がありました。

お気軽にご参加ください！！

金曜日の19時に zoom でお待ちしております。

★zoom 入室情報★

<https://us02web.zoom.us/j/4183419926?pwd=FL3lONEhvaUVnZTBmT3MmbOxKOWZxcz09>

ミーティング ID: 418 341 9926 パスコード: 517351



「当事者の当事者による当事者のための集まり」の IRODORI 彩ですが、いろんな立場の方に気軽に入ってきていただきたいです。

河合さん



IRODORI 彩は、決められたことをするのではなく、認知症当事者同士が出会い、つながる「扉」になればいいと思っています。

下坂さん



健康長寿企画課・長寿すこやかセンターも

SNS始めました♪

前ページでご紹介した IRODORI 彩で、Facebook による情報発信をされているとお伝えしましたが、健康長寿企画課・長寿すこやかセンターでも SNS での情報発信を始めています。

いいね！やフォロー大歓迎です！！ぜひ一度ご覧ください！！

④ 健康長寿企画課



- Facebook・Twitter で発信しています。ページ名はどちらも、「みんなでつくろう！認知症とともに生きるまち・京都」です。（認知症ガイドブックの1～2ページに掲載されているイラストが目印です！）
- 健康長寿企画課の認知症地域支援推進員が取り組んでいることをはじめ、京都市の認知症に関連する取組などについても発信していきたいと思っています。



<https://www.facebook.com/Tomoni.KyotoCity/>



https://twitter.com/Tomoni_Kyoto

④ 長寿すこやか
センター



Facebook のページ名は、「おれんじサロン ひと・まち」です。

認知症ではあるけれど、元気な当事者はたくさんおられます。今、認知症かもしれないと不安に思っている人が一歩を踏み出すために。また、周りの家族や専門職の方には、当事者が一歩を踏み出す支えとなってもらえるように。若年性認知症の方の活動や取り組みを当事者からのメッセージとして発信しています。



<https://www.facebook.com/tyoujyusukoyaka>

耳寄り情報

若年性認知症啓発イベント「記憶とつなぐ ある写真家の物語」について



若年性認知症の方のその持てる能力を発揮して活動する姿を伝えることを通じて、若年性認知症の方の社会参加への理解を促進するための啓発イベントが、下記の日程で開催されます。

そのなかで、今回のニュースで取り上げた駅カフェの主催団体である「さんげつ会」、そして新たな取組を始めている「IRODORI 彩」の代表を務められている下坂厚さんの認知症発症前から現在までの写真を展示し、写真表現や活動の変遷などを通じてひとりの若年性認知症の当事者の生き方を紹介する写真が展示されます。

開催期間：令和4年3月15日（火）～20日（日）

入場時間：10：00～17：00（最終日（20日）は16:00まで）※入場は30分前まで

開催場所：京都市京セラ美術館 本館北回廊1階（京都市左京区岡崎円勝寺町124）

下坂さんの写真展示の他にも、様々なイベントが予定されています。詳しくは、下記をご参照ください。

https://www.pref.kyoto.jp/kourei-engo/news/O3kioku.html?fbclid=IwAR3WLZMVb8cU5vm4_peQMKHofZdrYZogN-4jFDYDINaalDhvezOeefWP3A8

